

学区の概要

昭和41年に仙台市が住宅地として開発した鶴ヶ谷団地を主たる学区として、昭和48年4月1日、市内で24番目の中学校として開校した。保護者の職業の多くは会社員や公務員であり、保護者の学校教育に寄せる期待は大きい。

また、地域の学校に対する理解や協力は多大で、学校と家庭及び地域との連携が進んでいる。特に、学校行事、ボランティア活動、異年齢の交流活動や地区清掃活動等を通して、地域の人々との交流が図られている。

生徒の大多数は鶴谷小、鶴谷東小の卒業生が占めている。開校時は455名であった生徒数は、市営住宅、公営住宅等の完成に伴い、年々増加し、昭和59年4月には1,406名、33学級にも及んだ。そのために、一時期はプレハブ教室の対応も余儀なくされ、昭和61年4月に本校を母体校として西山中学校が新設された。以降、少子化や団地の高齢化等の影響もあり、生徒の数は年々減少の傾向にあった。

現在は、仙台市鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業が進められ、市営住宅の高層化とともに福祉施設や商業施設の造成が進められている。

生徒数(令和5年5月1日現在)

学 年	1 年	2 年	3 年	若木学級	計
生徒数	93	91	92	9	285
学級数	3	3	3	3	12

教職員一覧(令和5年5月1日現在)

配付した資料でご確認ください。

教育方針【令和5年度 学校経営計画（グランドデザイン）より】

●学校教育目標

変化する社会に主体的に対応し、たくましく生きていくことのできる、心豊かで創造性に富む生徒の育成

●重点的に育成を目指す資質・能力

- ・自主：主体的に活動し、自立を目指す力
- ・共生：共に学び、共に生きる力
- ・創造：創意工夫により、将来を創造する力

●今年度の重点目標・具体的取組

- ・重点目標1：認め合い、高め合い、磨き合う生徒の育成
 - ①認め合う学級づくりにより生徒の自己肯定感を高める。
 - ②達成感を得られる授業づくりをとおして生徒に自信を持たせる。
 - ③仲間を意識した活動場面を増やし、互いの良さを認め合う機会を創出する。
- ・重点目標2：確かな学力を身に付け、向上心を持って諸活動に取り組む生徒の育成
 - ①基礎・基本の定着に向け、「目標の提示」と「振り返り」を取り入れた授業を実践する。
 - ②個に応じた指導を心掛け、苦手分野の解消と得意分野の伸長に努める。
 - ③家庭学習ノートの活用により、家庭学習の定着を進める。
- ・重点目標3：常により良い自分を意識し、気づき、考え、実行する生徒の育成
 - ①学校行事や学年間交流をとおして人間関係力向上を図る。
 - ②委員会活動や係活動をととして課題意識を持たせ、改善に向けた行動を促進する。
 - ③ボランティア活動や小中連携活動をととして自己有用感・自己肯定感の涵養を図る。
- ・重点目標4（協働型学校評価到達目標：学校・家庭・地域で目指す重点目標）

失敗を恐れずに果敢に挑戦を続ける生徒の育成
（協働型学校評価における今年度の重点目標）

地域のために、地域と共に活動する生徒の育成
（三者による改善活動）

 - ①学校
 - ・挨拶運動等を活性化させ、自分の気持ちを表現できる生徒を育成する。
 - ・地域貢献の場面を設定し、積極的な参加を促す。
 - ・地域に求められている貢献活動を生徒に考えさせる。
 - ②家庭
 - ・学校や父母教師会の行事、地区の活動に積極的に参加する。
 - ・生徒の地域貢献活動について、その趣旨を理解し、時間の確保に協力する。
 - ③地域
 - ・中学生が関わり、活躍できる機会や場面を地域が見守る。
 - ・健全育成の立場から、望ましい生活環境や生活習慣づくりについて、声掛け、見守りを行う。



運動会

時 程〈50分授業・6校時〉

活 動	時 程
登 校	～ 8:25
朝学習・朝読書	8:25 ～ 8:35
朝 の 会	8:35 ～ 8:45
1 校 時	8:50 ～ 9:40
2 校 時	9:50 ～ 10:40
3 校 時	10:50 ～ 11:40
4 校 時	11:50 ～ 12:40
給 食	12:40 ～ 13:15
昼 休 み	13:15 ～ 13:35
5 校 時	13:40 ～ 14:30
6 校 時	14:40 ～ 15:30
清 掃	15:30 ～ 15:50
帰りの会	15:50 ～ 16:00
下 校	～ 16:45



全校道徳



ボランティア活動



鶴中祭



卒業式